

平成22年度 財団法人 日本体育協会 公認 上級教師養成講習会

受講の手引き

<目次>

はじめに	P. 1
公認スポーツ指導者養成の基本コンセプト	P. 2
受講のお申込みから認定まで	P. 3
基本的な受講のながれ	P. 7
公認上級教師養成講習会 共通科目カリキュラム	P. 8
共通科目集合講習会 受講会場一覧	P. 10
共通科目 集合講習会 基本日程表	P. 11
共通科目の免除概要及び受講料	P. 12
公認上級教師養成講習会「受講希望者個人調書」の記入について	P. 14
受講希望者個人調書 記入例	P. 15
受講希望者個人調書	P. 17
実施競技団体連絡先・講習会に関するお問合せ先	P. 19

競 技	
受講番号	
氏 名	

受講番号は、受講決定時に通知します。
講習会に参加する際には、この「受講の手引き」を持参してください。

はじめに

近年の国際化、情報化、少子高齢化等の進展などによる急激な我が国の社会状況の変化とともに、私たち日本人の価値観やライフスタイルも大きく変わろうとしています。そのような中でスポーツは、人間の思考・言動の本源的欲求に応えるほか、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらすとともに、社会生活に必要な人間の資質の形成などに重要な役割を果たすものであるという認識が高まっております。

このように、スポーツは、健康の増進や体力の向上のみならず、人間にとって生涯を生きていく上で不可欠な文化として、また、現代社会における高齢化の進展や生活習慣病の増加による医療費の増大、青少年の健全育成や体力低下の問題、余暇時間の増加などの諸課題に対応するものとしての役割が期待されはじめています。

また、スポーツは、人間の可能性の極限を追求する営みであるという意義を有しており、競技者の極限へ挑戦するパフォーマンスは、スポーツへの関心を高め、スポーツの振興に寄与するとともに、すべての人々に夢や感動を与えるなど、健全で活力のある社会の形成にも貢献することが期待できます。したがって、21世紀の社会において、国民一人ひとりの生活の中に、スポーツを位置づけたライフスタイル(スポーツライフスタイル)を構築することは大きな意義があります。

本会は、**国民の一人ひとりが、豊かで活力のある「生活/暮らし」を目指し、生涯を通じたライフステージにおいて、自己の能力・適性、興味・関心等に応じ、主体的にスポーツ文化を豊かに享受することのできる「スポーツライフスタイル」を構築していくと「社会、いわゆる「生涯スポーツ社会」を実現していく**、とらことを21世紀の国民スポーツ振興を図るにあたっての基本的理念としています。

そして本会が目指す「生涯スポーツ社会の実現」に向け、様々な事業を推進していくための中核的存在となって活動いただくのが資質の高いスポーツ指導者のみなさんです。こうしたことから、スポーツ指導者には、「生活/暮らしにスポーツ」を取り入れることによって「豊かな人生」を得られることを広く一般に定着させるとともに、「うまくない、つよくなりたい」という欲求にも応えられるよう、その「実現に向けてサポートする」という役割を担っていただくことを願っています。

また、スポーツは、あくまでもプレイする本人が、それぞれの目的のため、自主的・自発的に行うものであり、本人のやる気があってはじめて行われるものです。

スポーツ指導者は、プレイヤーのやる気を導き出し、自立したプレイヤーを育てることが一番重要となります。そして、その指導法は、スポーツ医・科学などさまざまな知識に裏付けられたものでなければなりません。

そのためにも、本会「公認スポーツ指導者制度」で定めるカリキュラムに基づき、スポーツ指導者としての能力を高めるとともに、常に自己研鑽に努め、社会的に信頼される指導者となり、これまで以上に我が国スポーツ振興の中核として活躍されることを期待します。

公認スポーツ指導者養成の基本コンセプト

財団法人日本体育協会及び加盟団体等は、生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、その推進の中心となるスポーツ指導者を養成する。

財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者とは

財団法人日本体育協会及び加盟団体等が、公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者とは、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることのできる者である。

望ましい公認スポーツ指導者像

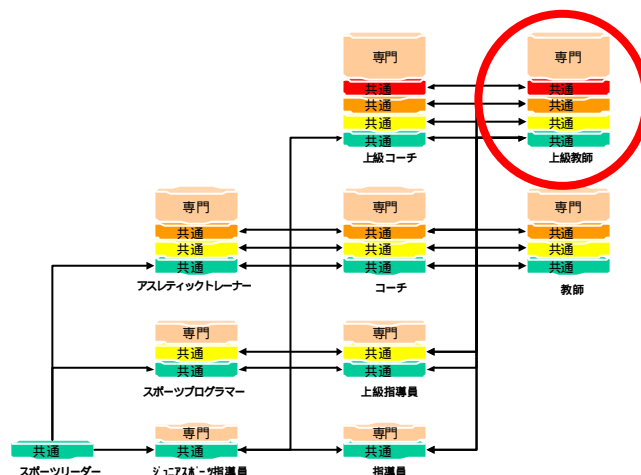
公認スポーツ指導者は、日常の「生活/暮らし」にスポーツを取り入れることによって「豊かな人生」を得られることを広く一般に定着させるとともに、「仲間と楽しく行いたい」「うまく行いたい、強くなりたい」さらに「健康になりたい、長生きしたい」という欲求に応えられるようその実現に向けて「サポート」という役割を持つ。

また、常に自己研鑽を図り、自ら成長・発展するとともに、社会的評価を得られるよう努力することが重要である。

スポーツ指導者ができること

- スポーツに初めて出会う子どもたちが、安心してスポーツ活動を楽しめるようサポートすること
- どの年代からでも、スポーツを始められるようサポートすること
- 生涯を通じてスポーツを楽しむ方法や機会を提供すること
- スポーツ経験のない人でも「スポーツ愛好家」に導くようサポートすること
- 技能をもっと高めたいというジュニアからトップレベルまでの競技者の願いが実現するようサポートすること
- スポーツを通して人間としてのマナー、エチケットなど豊かな人間性を涵養すること

< 本会公認資格共通科目カリキュラム相関図 >



競技別指導者資格『上級教師』について

<p>役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う • 会員（顧客）が満足できるよう 個々の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。 • 各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など、組織内指導者の中心的役割を担う • 地域スポーツ経営のためのコンサルティングならびに経営受託の企画 調整を行う
<p>認定により備えられる知識と能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 競技者育成プログラムの理念と方法 • 多様な能力やニーズに対応する高度な指導法 • スポーツ教室や各種イベントの企画立案 • 組織の育成に関する知識 • 商業スポーツ施設等の健全な経営能力 • 体力測定に関する能力
<p>カリキュラム</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 共通科目 + + + : 192.5 時間 (集合講習会と自宅学習により構成) • 専門科目: 60 時間以上 (各中央競技団体がそれぞれ定める)

受講のお申込みから認定まで

はじめに

公認上級教師養成講習会は、日本体育協会が計画・実施する**共通科目講習会**と各実施競技団体が計画・実施する**専門科目(競技別)講習会**から構成されています。それぞれの講習を受け検定に合格(修了)し登録手続きを完了することにより、資格が認定されます。

以下のながれでは、主に受講申込から資格認定にいたる概要を示しており、共通科目受講のながれを中心として記載しております。専門科目の**集合講習会**および**検定試験の詳細**などについては、各実施競技団体にお問い合わせ下さい(各実施競技団体連絡先 P.19)。

【共通科目 が免除で無い受講希望者の方へ】

本手引きは共通科目 免除の方(主に公認教師資格等保有者)向けに書かれております。**共通科目 が免除でない受講者の方は、共通科目 ・ 集合講習会の受講が必要となりますので、各実施競技団体より、公認教師養成講習会の「受講の手引き」を入手の上、よくお読み下さい(日本体育協会HP上でもご覧いただけます)。**また、本手引きP.17「受講希望者個人調書」に共通科目 ・ 集合講習会希望会場番号を必ずご記入下さい。

1. 受講の条件

受講する年の4月1日現在、満22歳以上の者で、当該競技団体の定める事項に該当する者のうち、以下のいずれかの条件を満たす者。

施設の管理運営や組織内指導者・スタッフの育成、指導など商業スポーツ施設等のマネジメントに携わる者、競技別の専門的指導者として各年代のトップレベルの実技指導を行う者。商業施設等において、各種事業に関する計画の立案と運営、指導方針の決定など組織内指導者の中心的役割を担う者、またこれから携わる者。

2. 受講のお申し込み

下表にしたがい、「受講希望者個人調書」を提出して下さい。

提出物	提出先	提出方法 および期限	備考
受講希望者 個人調書 (P.17)	各実施 競技団体	各実施競技団体が定める方法 および期日	本会公認指導者登録証もしくは免除適応コース修了証明書などにより共通科目の免除を申請される方は、「受講希望者個人調書」の裏に写しを貼り付けて一緒にご提出下さい。

【免除申請をされる方へ】

- ・ **共通科目**の免除申請をされる方は、「共通科目の免除概要および受講料」(P.12)で受講料(または免除審査料)および免除申請に必要な書類をご確認の上、申請に必要な書類を添付して下さい。
- ・ 受講申込み時に申請がない場合は、原則としてその後の免除の受付はいたしません。
- ・ 共通科目免除要件に該当する保有登録資格が**有効期限内の方**のみが免除対象となります。
- ・ **専門科目**の免除申請については、各実施競技団体にご確認下さい。

3. 受講の決定

受講決定者へは、次の書類等を送付いたします。

受講決定通知

受講カード(共通科目受講免除表) 受取後、顔写真を貼り付けて下さい。

共通科目教材(テキスト・ワークブック)

共通科目集合講習会受講会場案内

(注)専門科目(競技別科目)の教材、開催要項、日程などの関係書類については各実施競技団体にご確認下さい。(実施競技団体連絡先は P.19 参照)

4. 受講料(または免除審査料)の納入

受講料の納入については、各実施競技団体を通じて受講決定者各位に金額、納入方法、納入期日が案内されます。その案内に従い、お納め下さい。

基本的な受講料の例

提出物	提出先	提出方法 および期限	備考
受講希望者 個人調書 (P.17)	各中央 競技団体	各中央競技団体が定める方法 および期日	共通科目 もしくは が免除の場合でも共通科目受講料は¥46,200 円となります。共通科目 免除の場合は受講料¥27,300 円となります。

(注)申込時に免除を申請し、審査の結果免除が適用となった方については、免除内容に応じた受講料が実施競技団体より案内されます。免除内容に基づく共通科目受講料(または免除審査料)の詳細については P.12 をご覧下さい。

(注)受講者として正式決定され、受講料(または免除審査料)を納入いただきました後は、原則として返金できません。予めご了承下さい。

(注)受講決定後に、各実施競技団体の定めた期日までに受講料の納入が確認出来ない場合は、受講取り消しとなることもございます。

5. 共通科目自宅学習

共通科目は下表のとおり 集合講習会と自宅学習により構成されています。教材が届きましたら自宅学習を進めて下さい。集合講習会はテキスト・ワークブック等を用いて予め自宅学習をしていることを前提に実施いたします。各科目における自宅学習の時間数については、P.8~9 をご覧下さい。

科目区分	時間数			各カリキュラムを学んだ受講者が身につけるべき到達目標
	自宅学習	集合講習	計	
共通科目	35h	0h	35h	スポーツ指導の基礎的知識と指導法を身につける
共通科目	28h	7h	35h	多様なニーズに対応する知識と指導法を身につける。スポーツ教室や各種イベントの企画立案の方法を身につける。クラブの育成に関する知識を身につける
共通科目	49.5h	33h	82.5h	競技者育成の高度な知識と指導法を身につける
共通科目	18h	22h	40h	トップアスリートの特徴に関する知識を身につける。国際的視野を持った指導者としての知識を身につける。
計	130.5h	62h	192.5h	(各科目のカリキュラム詳細は P.8~9 参照)

(注)公認コーチ・教師資格登録済みの受講者の方は、共通科目 のみの受講となります。

6. 共通科目 集合講習会

(1) 講習会場について

集合講習会は全3会場設定されており、各会場の会期はP.10のとおりとなっております。受講希望者の方は、受講申込み時に第1希望および第2希望の会場番号を『受講希望者個人調書』にご記入下さい。会場ごとの人数などを本会で調整の上、受講決定通知でご受講いただく会場をお知らせいたします。なお、講義会場の収容能力、効果的な学習環境の確保のため一つの会場での受講人数は40名程度になるよう本会で調整するため、必ずしもご希望に添えない場合もございます。予めご了承下さい。

(注) 集合講習会については、特別な事情がない限り、全ての講義を同一会場で受講して下さい。

(2) 講習会の参加にあたって

講習会参加にあたっては、下記のものを必ず持参して下さい。

- ・ 受講カード(顔写真を必ず貼付して下さい。)
- ・ 教材一式 教材(テキスト・ワークブック)は受講決定時にお送りいたします。
- ・ 筆記用具

受講会場・受験会場の変更及び受講キャンセルについては受講決定通知に同封される『**受講会場・受験会場変更届**』により、必ずご連絡下さい。無断で講義を欠席した場合、以後の受講をお断りすることがあります。

(注) 過去の講習会において、共通科目集合講習会の会場変更もしくは欠席を、事前に各中央競技団体に伝える受講者の方がおりますが、共通科目は日本体育協会が実施・計画しておりますので、**受講者ご本人から必ず日本体育協会に事前にお知らせ下さい。**

(3) 宿泊について

宿泊費については、自己負担となります。なお、会場となるホテルに宿泊を希望される場合は、受講決定通知を受理した後、直接ホテルにお申込み下さい。

7. 共通科目 検定

(1) 検定の受験資格は、共通科目の集合講習会全科目を受講完了した方のみと与えられます。

(2) 共通科目の検定は、課題レポートの提出により行います。

(3) 検定結果については、本会より各受講者宛てに直接通知します。

8. 専門科目集合講習会および検定

(1) 専門科目講習会の開催案内は、実施競技団体より送付されます。開催期日等詳細については、各実施競技団体へお問い合わせ下さい。なお、共通科目集合講習会と日程が重複する場合がありますので予めご注意下さい。

(2) 専門科目の検定・審査は実施競技団体が行い、その結果を各受講者および本会に通知します。

9. 総合判定および結果通知

共通科目・専門科目の検定結果を併せた通知を、各受講者宛てに直接通知します。

(1) 共通科目、専門科目ともに修了の場合

共通科目及び専門科目の検定試験に合格した方を「公認上級教師養成講習会修了者」として認め、『公認上級教師養成講習会 修了通知』を送付するとともに、本会公認スポーツ指導者資格登録申請書類一式を送付しますので必ず登録手続きを行って下さい。登録手続きの完了が確認できた時点で『認定証』および『登録証』をお送りいたします。

登録手続きを完了いただきませんと、資格が認定されませんのでご注意下さい。

(2) 共通科目・専門科目が未修了の場合

【共通科目が不合格(未修了)の場合】

次年度に新たな検定(レポート課題を送付いたしますので、ご提出下さい。

(注)共通科目・・・が免除でなく、検定試験結果が不合格(未修了)の場合、改めて次年度の検定試験を受験して下さい。

【専門科目が未修了の場合】

実施競技団体に確認して下さい。

(3) 共通科目・専門科目で講習会を未受講の場合

【共通科目が未受講の場合】

集合講習会を受講されなかった場合、次年度5月頃、本会より受講の案内をお送りいたします。

【専門科目が未受講の場合】

実施競技団体に確認して下さい。

10.登録手続き

共通科目と専門科目の両科目を修了した受講者の方には、次の書類を送付いたします。

登録のご案内

登録申請書

書類を受理されましたら、その内容に基づき、登録申請のお手続きをして下さい。

<登録料について>

・初年度の初回基本登録料 13,000 円(4年間)

・4年後の更新時の登録料 10,000 円(4年間)

これら基本登録料の他に、競技団体登録料が別途定められている競技があります。

11.資格認定

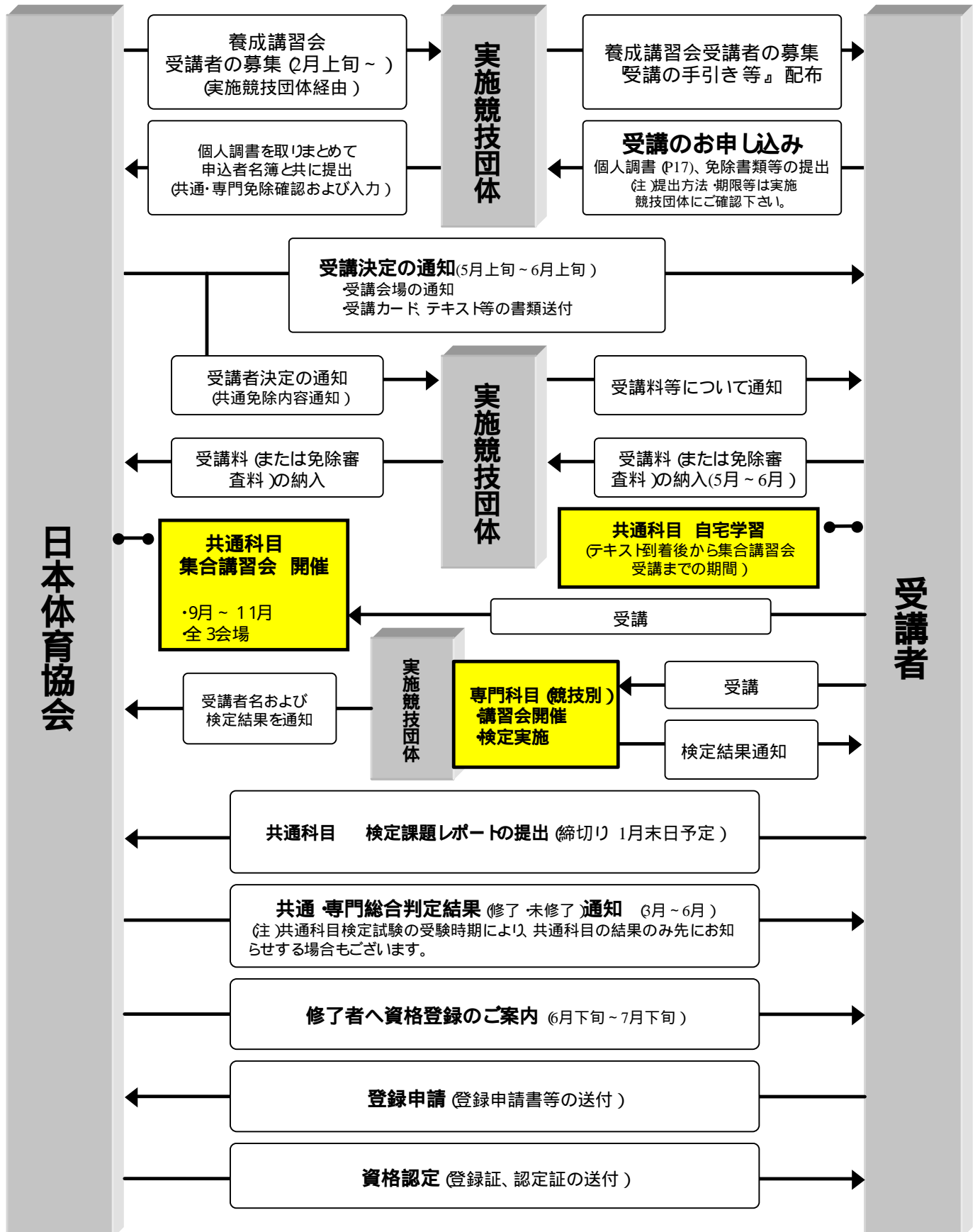
共通・専門の両科目が修了となった年の10月1日付登録として認定され、『認定証』と登録証(原則クレジットカード機能付)を送付いたします。

【留意事項】

受講有効期限は、4年間となっております。有効期限内に共通・専門の各講習会を受講し、検定に合格する必要があります。有効期限内に両科目が修了とならず、どちらかの科目のみが修了となっても、有効期限の終了に伴い、当該科目の修了は無効となりますのでご注意下さい。

基本的な受講のながれ (申込から認定まで)

(注)以下のながれは、基本的な受講のながれ及び時期を示しており、各競技別に手続きなどが異なる場合もございます。



(注)通知時期などについては、手引き作成時点における予定となります。

公認上級教師養成講習会 共通科目カリキュラム

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目	文化としてのスポーツ	スポーツの概念と歴史（スポーツの歴史的発展と現代スポーツの考え方、スポーツを取り巻く環境）	0	3.75	3.75
		文化としてのスポーツ（スポーツの文化性、文化的内容、スポーツ観、スポーツ規範、ホラテイア）			
	指導者の役割	スポーツ指導者とは（スポーツ指導者の必要性、スポーツ医学に関する知識の必要性）	0	5	5
		指導者の心構え・視点（医科学スタッフとの連携、指導者として必要なコミュニケーションスキル）			
		競技者育成プログラムの理念（一貫指導システム、指導者の役割、ネットワーク）			
	トレーニング論	体力とは	0	3.75	3.75
		トレーニングの進め方（原理、原則、トレーニング処方）			
		トレーニングの種類			
	スポーツ指導者に必要な医学的知識	スポーツと健康	0	7.5	7.5
		スポーツ活動中に多いケガや病気			
		救急処置（心肺蘇生法、RICE、緊急時の対応などを含める）			
	スポーツと栄養	スポーツと栄養（五大栄養素、栄養のバランス、食事の摂り方、水分補給）	0	2.5	2.5
	指導計画と安全管理	指導計画のたて方（集団の指導計画、個人の指導計画、期別計画）	0	3.75	3.75
		スポーツ活動と安全管理（個人的要因、環境的要因、競技特性）			
ジュニア期のスポーツ	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴	0	5	5	
	発育発達期に多いケガや病気				
	発育発達期のプログラム				
地域におけるスポーツ振興	地域におけるスポーツ振興政策と行政のかかわり（日本のスポーツ振興政策の基礎を含む）	0	3.75	3.75	
	地域スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブを中心として）の機能と役割（スポーツ少年団の役割を含む）				
		0	35	35	

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目	社会の中のスポーツ	社会の中のスポーツ	2	3	5
		我が国のスポーツ振興政策（世界のスポーツ事情と日本のスポーツ振興政策）			
	スポーツと法	スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	2	3	5
		スポーツと人権（虐待、セクシュアルハラスメントなど）			
	スポーツの心理	スポーツと心	3	4.5	7.5
		スポーツにおける動機づけ			
		コーチングの心理			
	スポーツ組織の運営と事業	スポーツ組織の運営	0	10	10
		スポーツ事業の計画・運営・評価（総論、スポーツ教室の実施・運営）			
		広域スポーツセンター（ナショナルスポーツセンターを含め）の機能と役割			
	対象に合わせたスポーツ指導	中高年者とスポーツ	0	7.5	7.5
		女性とスポーツ			
		障害者とスポーツ			
			7	28	35

公認上級教師養成講習会 共通科目カリキュラム

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目	指導者の役割	プレーヤーと指導者の望ましい関係	3	4.5	7.5
		ミーティングの方法			
		競技者育成プログラムの理念に基づく展開			
	アスリートの栄養・食事	アスリートの栄養摂取と食生活	2	3	5
	スポーツの心理	メンタルマネジメント（メンタルトレーニング、プレッシャー、あがり、スランプの対処法含む）	4	6	10
		指導者のメンタルマネジメント			
	身体のしくみと働き	運動器のしくみと働き	4	6	10
		呼吸循環器系の働きとエネルギー供給			
		スポーツバイオメカニクスの基礎（歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ、投げる、蹴るなど）			
	トレーニング論	トレーニング理論とその方法	8	12	20
		トレーニング計画とその実際			
		体力テストとその活用			
		スキルの獲得とその獲得過程			
	競技者育成のための指導法	競技者育成と評価	4	6	10
		競技者育成システムにおける指導計画（海外の競技者育成システム事例の紹介）			
		競技力向上のためのチームマネジメント（現状把握、情報収集・分析、計画、実践、評価、リーダーシップほか）			
		競技スポーツとIT（VTR、インターネットなどを利用した情報収集・分析）			
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識	アスリートの健康管理	8	12	20
		アスリートの内科的障害と対策			
		アスリートの外傷・障害と対策			
		アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画			
コンディショニングの手法（ストレッチング、テーピング、アイシング、スポーツマッサージ）					
スポーツによる精神障害と対策					
特殊環境下での対応					
アンチドーピング（ドーピングコントロールを含む）					
			33	49.5	82.5

	科目名	内容	時間数		
			集合	自宅学習	計
共通科目	トップアスリートを取り巻く諸問題	トップアスリートの特徴（トップアスリートへの科学的サポート）	14	6	20
		海外遠征の諸問題とその対応（特殊環境、心理的問題、リスクマネジメント）			
		国際競技力向上のための環境（JOC、JISSの活動、取組み）			
		情報戦略（情報の収集・分析、テクニカルサポートの連携）			
		競技者を取り巻く環境（マスコミ対策、キャリアターミネーションとセカンドキャリア、肖像権、契約、仲裁機構など）			
	指導能力を高めるための スキルアッププログラム	コミュニケーションスキル（ロジカルシンキング、意思伝達、交渉能力、調整能力の獲得・向上）	8	12	20
	プレゼンテーションスキル（提案、発表能力の獲得・向上）				
			22	18	40

共通科目集合講習会 受講会場一覧

＜ 共通科目 ＞

会場番号	都市	期 日	会 場 名
第 1 会場	東京	9月 22日 (水)～ 9月 24日 (金)	KFC Room (講習会場) 〒136-0075 東京都墨田区横網 1- 6- 1
第 2 会場		10月 15日 (金)～ 10月 17日(日)	03-5610-5801 第一ホテル両国 (宿泊先) 〒136-0075
第 3 会場		11月 25日 (木)～ 11月 27日 (土)	東京都墨田区横網 1- 6- 1 03-5611-8494 宿泊についてはこちらの番号におかけください

共通科目 が免除でない受講者の方へ】

下記＜共通科目 ・ 集合講習会＞の日程をご確認の上、P.17の『受講希望者個人調書』にて受講希望会場をご記入下さい。なお、共通科目 ・ の詳細は『公認教師養成講習会受講の手引き』にてご確認ください。

共通科目 のみの受講の方は、下記会場番号の『受講希望者個人調書』への記入は不要です。

＜ 共通科目 ・ ＞

会場番号	都市	期 日	会 場 名
第 1 会場	東京	7月 26日 (月)～ 7月 30日 (金)	KFCホール (講習会場) 〒136-0075
第 2 会場		8月 9日 (月)～ 8月 13日 (金)	東京都墨田区横網 1- 6- 1 03-5610-5801
第 3 会場		8月 14日 (土)～ 8月 18日 (水)	第一ホテル両国 (宿泊先) 〒136-0075
第 4 会場		10月 1日 (金)～ 10月 5日 (火)	東京都墨田区横網 1- 6- 1 03-5611-8494
第 5 会場		11月 19日 (金)～ 11月 23日 (火)	宿泊についてはこちらの番号におかけください
第 6 会場	大阪	8月 20日 (金)～ 8月 24日 (火)	チサンホテル新大阪 〒532 - 0011
第 7 会場		9月 30日 (木)～ 10月 4日 (月)	大阪市淀川区西中島 6- 2- 19 06-6302-5571
第 8 会場		10月 21日 (木)～ 10月 25日 (月)	
第 9 会場	福岡	8月 27日 (金)～ 8月 31日 (火)	チサンホテル博多 〒812 - 0011
第 10 会場		10月 29日 (金)～ 11月 2日 (火)	福岡市博多区博多駅前 2- 8- 11 092-411-3211

共通科目の免除概要及び受講料

共通科目	保有資格	免除内容	提出書類	受講料・免除書料	備 考				
1. 共通科目 ・ ・ ・	(1) 他競技の上級コーチ・上級教師	共通科目 + + + の集合講習 検定課題の免除	登録証(写)	全額免除 3,150円	資格が登録有効期限内であること				
	(2) 本会公認以外の他団体認定の上級教師								
	(3) 日本オリンピック委員会ナショナルコーチアカデミー修了者								
2. 共通科目 ・ ・	(1) 公認スポーツトレーナー 1級	共通科目 + + 自宅学習・集合講習 試験の免除 共通科目 + + 自宅学習 集合講習の免除 (試験は必須)	修了証(写)	全額免除					
	(2) 公認スポーツトレーナー 2級								
	(3) 公認教師								
	(4) 公認コーチ								
	(5) 公認スポーツ栄養士								
	(6) 公認フィットネストレーナー (SP2種)								
	(7) 公認アスレティックトレーナー								
3. 共通科目 ・	(8) 本会免除適応コース(共通・) 修了証明書保有者	共通科目 + + 自宅学習・集合講習 試験の免除	登録証(写)	56,700円	資格が登録有効期限内であること				
	(9) 本会公認以外の他団体認定の教師								
	(1) 公認上級指導員								
	(2) スポーツプログラマー								
	(3) 本会免除適応コース(共通・) 修了証明書保有者								
	(4) 丸亀エーゴインテイクター (H12年度以前取得者)								
	(5) 健康運動指導士								
	(1) スポーツリーダー スポーツ少年団認定員を含む					共通科目 + 自宅学習 集合講習 試験の免除	登録証(写)	59,850円	資格が登録有効期限内であること
	(2) 公認指導員								
	(3) 公認ジュニアスポーツ指導員								
4. 共通科目	(4) 公認アシスタントマネジャー	共通科目 自宅学習 集合講習会 試験の免除	修了証明書(写)	113,400円	資格が登録有効期限内であること				
	(5) 本会免除適応コース(共通・) 修了証明書保有者								
	(6) 野外活動指導者(デイレクター 1級)								
	(7) 丸亀エーゴインテイクター (H13年度以降取得者)								
	(1) スポーツリーダー								
	(2) 公認指導員								
	(3) 公認ジュニアスポーツ指導員								

- (1) 保有資格により、共通科目課程の免除できる範囲が異なりますので、ご注意ください。
- (2) 共通科目の免除を申請する方はP.17の「受講希望者個人調書」に記入の上、上記提出書類を貼付して中央競技団体へ提出してください。
- (3) 平成16年度以前の「共通科目免除適応コース修了証明書」をお持ちの場合はP.13を参照してください。
- (5) 本会講習 試験免除適応コース承認校のうち一部の大学 学部の新卒生は共通科目 が免除となります。対象の条件については本会HPをご参照ください。

平成16年度以前の公認スポーツ指導者制度における 共通科目免除適応コース修了証明書」の新制度での取扱い

平成16年度以前の 共通科目免除適応コース修了証明書」をお持ちの方の免除は下表のとおりです。お持ちの修了証明書で免除となる部分をご確認ください。

	平成16年度以前の 免除適応コース修了証明書」の種類	免除科目		
		共通科目	共通科目 ・	共通科目 ・ ・
1	C級スポーツ指導員 / 少年スポーツ指導員			
2	C・B級スポーツ指導員 / スポーツプログラマー / 少年スポーツ指導員 / 少年スポーツ上級指導員			
3	C級教師 / C級コーチ / フィットネストレーナー			
4	C・B級教師 / C・B級コーチ / アスレティックトレーナー / フィットネストレーナー			
5	C級コーチ			
6	C・B級コーチ / アスレティックトレーナー			
7	C級スポーツ指導員 / 少年スポーツ指導員 ・ スポーツプログラマー 期 共通科目修了証明書			
8	C・B級コーチ共通科目修了証明書			

公認上級教師養成講習会 受講希望者個人調書」の記入について

手引きをよくお読みになり、講習会の内容、ながれを十分にご理解・ご了承の上、ご記入下さい。

楷書で記入してください。

現在、日本体育協会公認指導者資格講習会を受講中の方、もしくは本年度に他資格講習会受講を申し込む方はお申込できません。

共通科目受講希望会場番号を第2希望までお書き下さい。

(注)講習会運営上の観点からご希望に添えない場合もあります。

免除申請をする方は下記項目をご確認下さい。

必ず免除申請に必要な書類をP.17の個人調書とともに提出してください。

日本体育協会公認スポーツ指導者として既に登録されている場合は、該当指導者資格の登録番号・登録有効期限を必ず記入してください。

申込み締切後の免除の申請は受け付けません。

受講申込後から受講決定までの期間における住所の変更は、速やかに各実施競技団体にお知らせ下さい。お知らせがない場合、受講決定通知が届かない場合もございます。

本講習会受講に際し取得した個人情報は、日本体育協会及び実施競技団体が、受講管理および集合講習会で配布する名簿(氏名、受講番号、競技名)以外の目的で利用することはありません。なお、日本体育協会は、本講習会における受講管理を業務委託いたします。業務委託先とは、個人情報保護に関する覚書を締結し、個人情報の取扱いについては、十分注意を払っております。

個人調書ご提出先 : 実施競技団体

平成22年度 公認上級教師養成講習会 受講希望者個人調書

きりとり線

きりとり線

競技名		競技種目	
フリガナ		性別	生年月日
氏名		男・女	西暦 19 年 月 日生
連絡先 住所：		Tel	年齢 (H22年4月1日現在)
		携帯Tel	満 歳
		Fax	
		e-mail	
ご職業 (勤務先名)		Tel	
		Fax	
中央競技団体での役職		都道府県競技団体での役職	
以下のいずれかの該当する部分 項目に をつけて下さい。			
現在指導しているチームまたは競技者の年齢層		小学生 ・ 中学生 ・ 高校生 ・ 大学生 ・ 社会人 ・ その他 (
現在指導しているチームまたは競技者の競技レベル		国際大会レベル ・ 全国大会レベル ・ 県大会レベル ・ その他 (
現在までの競技者育成実績			
現在までの指導活動において、過去にあなたが育成に携わった競技者が、現在国際競技レベルや国内トップレベル等で活躍している場合、選手名やその選手の現在の競技レベル (参加大会名や順位等)、あなたが指導に関わった期間などについて、下記にご記入下さい。該当選手がない場合は、記入不要です。			
該当する番号を で囲み、該当項目の右の部分に詳細をご記入下さい。			
1	過去の国際競技大会に監督またはコーチとして帯同した経験がある。 具体的にご記入ください (大会名 開催年)		
2	近々国際競技大会に監督またはコーチとして帯同する予定がある。 具体的にご記入ください (大会名 開催年)		
3	競技団体において競技力向上方策の開発・研究に携わっている、またはこれから携わる。 具体的な役割・立場 (これからも含めて) などをご記入ください		
4	競技団体において国際的な最新情報の収集・分析の役割を担っている、またはこれから担う。 具体的な役割・立場 (これからも含めて) などをご記入ください		
受講動機 (必ずご記入下さい)			
中央競技団体からの推薦文		(推薦理由)	
推薦者名		印	推薦者役職
共通科目 集合講習希望会場		共通科目 ・ 集合講習希望会場	
第1希望 (会場番号)	第2希望 (会場番号)	第1希望 (会場番号)	第2希望 (会場番号)
(注) 会場番号は、P.10をご覧ください。 (注) 必ず第2希望までご記入下さい。 (注) 共通 免除の方は、のみご記入下さい。			
共通科目免除申請 (右記いずれかに)		する ・ しない	免除申請する方は 該当科目を で囲む
共通科目免除を申請する方は右記免除要件のいずれかに		1. 本会公認資格保有者 資格名、登録番号、有効期限をそれぞれ下記 に記入し 裏面に両面写しを貼付。 2. 免除適応コース共通科目修了証明書取得者 免除適応コース修了証明書写しを裏面に貼付。 免除要件が、上記1,2以外の方は、こちらにお書き下さい。	
保有本会公認資格名		保有公認資格登録有効期限	
保有公認資格登録番号		年 月	
専門科目免除申請 (右記いずれかに)		する ・ しない	【注意】 免除申請に先立ち、実施競技団体に免除要件等を必ずご確認下さい。

上記申請に基づき、免除内容を日本体育協会および各実施競技団体に審査 決定し通知します。

免除申請に伴う保有資格登録証等を貼付してください。(二つ折り可)

貼付可能なもの

日本体育協会公認スポーツ指導者資格登録証の写し

免除適応コース修了証明書の写し

健康運動指導士登録証の写し

(注)登録証(クレジットカード)の場合、両面写しを貼付してください。なお、クレジットカード番号(16桁数字)はマジックなどで消してください。

の り し ろ

公認教師資格養成実施競技団体連絡先

団体名	郵便番号	住所		電話番号
財団法人 日本水泳連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4F	03-3481-2306
社団法人 日本スイミングクラブ協会	101-0061	千代田区三崎町2-20-7	水道橋西口会館5F	03-3511-1552
財団法人 全日本スキー連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館3F	03-3481-2315
財団法人 日本テニス協会	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4F	03-3481-2321
財団法人 日本スケート連盟	150-8050	渋谷区神南1-1-1	岸記念体育会館4F	03-3481-2351
財団法人 全日本ボウリング協会	108-0014	港区芝4-4-10	サンライズ長井ビル8F	03-3452-4501
社団法人 日本エアロビック連盟	140-0011	品川区東大井5-7-10	クレストワン3F	03-5796-7523
社団法人 日本プロテニス協会	108-0074	東京都港区高輪3-24-16	ISAビル3F	03-3464-6621
社団法人 日本プロゴルフ協会	105-0001	港区虎ノ門2-7-7	虎ノ門中田ビル2F	03-3566-0003
社団法人 日本職業スキー教師協会	104-0031	中央区京橋1-19-10	大宗ビル4F	03-3567-4770

講習会に関するお問合せ先

共通科目 講習会全体	財団法人 日本体育協会 スポーツ指導者育成部 指導者育成課 教師担当 TEL 03-3481-2226 FAX 03-3481-2284 Email coach@japan-sports.or.jp (すぐにご返信できない場合もございます) (業務時間:平日 9:30~17:30 但し12:00-13:00を除く)
専門科目 (競技別)	実施競技団体 (上記一覧参照) 各競技によって、別途連絡先を設けている場合もございます。ご確認下さい。



～ 創立100周年記念事業スローガン～

日本のスポーツ100周年 誇れる未来に あらたな一歩
日本体育協会は平成23(2011)年に創立100周年を迎えます

(財)日本体育協会 ホームページ
<http://www.japan-sports.or.jp>